

三原市長期総合計画基本構想(案)に対する意見内容及び市の考え方

意見提出人数 16人 16件

- 意見内容を踏まえた「三原市長期総合計画基本構想(案)概要版」及び「三原市長期総合計画基本構想(案)」の修正は無し。
- 意見内容に対する市の考え方は以下のとおり。

1	該当箇所	－	
		意見	市の考え方
		①国体を受けられるような大型スポーツ総合施設の設置 ②目玉観光事業の促進。竹原や尾道市を見習う。 ③空き家の撤去の促進 ④西野川下流の浚渫工事の実施。堤防が氾濫したら宮浦は全部浸かるから。	いただいたご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。
2	該当箇所	－	
		意見	市の考え方
		ここで出させていただくべき意見か迷ったのですが、これまで3人の子育てを三原市で行ってきた身としまして、知り得る限りではありますが、他の市と比較してかなり育てやすい環境を整えて頂いているなと感じていました。もっとアピールし、特色として手厚くしていった良い部分ではないかと感じます。	次期長期総合計画策定に向けた市民アンケート調査によると、妊娠から出産・子育てしやすい環境づくりに関する支援は、人口減少を抑えるために力を入れるべき取組として多くの回答がありました。 今後も、市民が「住み続けたい」、市外の人には「行ってみたい」「住んでみたい」と思ってもらえる特色となるよう注力をし、魅力を発信していきたいと考えています。

	該当箇所	—
	意見	市の考え方
	3 一市民としてです。とりわけ、特殊な知識はありませんが、災害時のため平穏な時期に設備の準備して下さい。例えば、やまみ運動公園を、中心に、ベンチをコンロとして使えるようにしたり、断水時にも使えるトイレ等々駐車場や、各広場を、車中泊あるいは、テントをセットできる等々などの、最新の情報を考慮して改修していかれた方が良いと思います。あとは、災害時に、避難所において避難者の人々を、上手に配置したり、組織立てて、その事ができる能力技能を、備えた人材を訓練して下さい。とりわけ、女性とか、若い女性、小さい子供を育てている女性と、この時代、セクハラに対して敏感な時代ですので。監督する方々の、良識のある女性もしっかり確保して、安心して避難所で生活できるものにする事。訓練して行かないと不備な点も改善点も気づかないです。良識のある人材で、訓練して行って災害時に、備えていって下さい。せっかく、やまみ運動公園がありますので。災害時に、活躍できる設備施設を、設置して、それを、しっかり避難生活を、安心して生活できる誘導できる人材を訓練して行って下さい。災害に強い地域にして頂きたいです。	防災・減災については、基本構想の中で重要課題として位置づけており、災害時にとるべき行動についての職員研修や市民への啓発、災害時の避難所となる施設などの社会インフラを適切に整備して行くことが必要と考えています。 いただいたご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。

	該当箇所	—
	意見	市の考え方
4	三原市で若者が、働く場所を確保して、安心して子育てができる町を創生して欲しい。 提案 1) I T 関連企業の誘致 交通インフラの利便性がよく、尚且つ、気候が、穏やかで、地震等の災害リスクが、少ない強みをいかし、アピールする。実行案として、空き家、空きビルを活用し、高速回線を整備し、格安で、事務所を提供する。当面は、優遇税制により、IT 企業を誘致する。 提案 2) メガサーバの誘致 上記と同じで、空港近くに、インターネットサーバの基地を誘致する。小原工業団地など提案 1 の誘致にもつながる 提案 3) 子育て支援の拡充 医療費、学費の無償化。子供手当の拡充。放課後見守り設備の拡充により、若者世帯の居残り、移住者の支援を行う。 提案 4) 空き家対策 市民の高齢化に伴い、空き家問題が、課題となる。空き家創生事業、また、市による取り壊し費用の援助を行い、若者世帯に提供する。 提案 5) 文化設備の充実 美術館、コンサートホール、映画館などの設備整備により、魅力ある三原市に。現状では、遊び場がない。 提案 6) 観光事業の拡充 現状では、魅力的な観光事業がない。海と、温暖な気候を生かした観光エリアをつくる。さぎじま、須波地区を海の観光に、特化した町作りを官民一体プロジェクトを立ち上げる	若者の働く場の確保については、基本構想の中で重要課題として位置づけており、多様な産業が育つ風土とともに、デジタル技術の活用などによる働きやすい職場環境の整備を推進し、若い世代や様々な価値観を持つ人材へ働く場としての P R をしていくことが必要と考えています。 また、子育ての環境についても、基本構想の中で重要課題として位置づけており、希望する人数の子どもを産み育てることと、子どもたちが健やかに育つ環境を整えていくことが必要と考えています。 そのほか、いただいた市民生活の各分野におけるご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。

5	該当箇所	—	
		意見	市の考え方
		帰省した時に、中学校、高校の横断幕を見て、後輩の活躍ぶりに励まされています。また、三原駅前もきれいになって、栄えているところもあって、三十年前と比べて変わったなと思う所と、変わらない町並みがあって、穏やかな良い街だなと離れていて思います。お酒も美味しく新幹線や空港も高速道路もあって行きやすい街だと思っています。これからもこれまでの文化や伝統を大切にしつつ、頑張ってください。	“めざすべきまちの姿”（将来像と基本目標）の中で、「三原らしさ」を存分に活かし、人々が交流するまちをめざすことを掲げています。これからもたくさんの三原を形づくる資源を活かし、活気があふるまちにしていきたいと考えています。
6	該当箇所	—	
		意見	市の考え方
		三原市の人口減少に歯止めがかからない。毎年約 1,000 人ずつ、2005 年の市町合併以降 2 万人以上減少している。このまま人口減少が進めば、市の財政が成り立たなくなって、あらゆる市政が行き詰まり、やがて破綻を来すことになる。年代別の人口増減を見ると、生産年齢人口、とりわけ 20 代の減少が著しい。これは、就学を終えた若者が職を求めて市外に流出していることに起因する。すなわち、三原市には若者が働ける職場が十分に無いのである。いくら子育て支援に力を入れても、育った子どもは自立するために三原市を出て行かざるを得ないのである。最近話題になっている、農村への移住にしても、せいぜい数人～数十人の効果しかなく焼け石に水であろう。しかし、若者の地方からの流出問題は三原市に限ったものではなく、全国的に大都市への一極集中が起こっている。そんな中、三原市としてどうやって若者離れに歯止めをかけるか、万人単位の人口流入を仕掛けるか、市長の着想と手法を問いたい。	人口減少の抑制は、基本構想の中で重要課題として位置づけており、労働力や地域機能の担い手の減少に直結する若い世代の人口をどのように獲得していくかは、将来にわたって大きな課題であると考えています。 また、“めざすべきまちの姿”（将来像と基本目標）の中で、市内外の多様な人材や、一度は転出した若者が「ここで働きたい」「また戻ってきたい」と、三原が働く場として選ばれる取組が必要であることを掲げています。 ご質問をいただきました若者離れに歯止めをかける手法については、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討していく中で、整理をしていきたいと考えています。

	該当箇所	—
7	意見	
	市の考え方	
	この度の三原市長期総合計画基本構想の資料を読んで、思ったことを書こうと思います。2050年に向けて「行きたい、住みたい、つながりたい、世界へはばたく瀬戸内元気都市みはら」を活気あふれる街づくりにすることを今後でも取り組んでいく必要があります。 これからは高齢化・人口減少を基に様々な生活に合った暮らし方が課題だと思います。そのためには市民の力で意見や相談できる環境づくりが重要です。今回のようにLINEだけでなく、直接に会って意見を言う場を作るのでしょうか？意見（相談）を知ることで市民の生活スタイルが少しずつ見えていき、何を求めているかを知るきっかけになるとと思います。 三原は利便性が良い場所に人が集まるため、娯楽をもっと身近に感じられるように行事を活かし、市外の人々に移住やUターンで若者が戻ってくる魅力あふれる街にする必要があります。 あとは浸水地域や家賃が高いイメージを持っている方のために「人にやさしく、どんな人も住みやすい」イメージを今後で作っていくのはどうでしょうか？住みやすい環境づくりとして少子化対策で子育てに優しい制度を早くに取り入れるのもどうでしょうか？なおかつ起業したい方のためにSNSやクラウドファンディングを利用しつつ、勉強会や人とのつながりができる場を増やすのも一つです。この人とのつながりが重要で、どんな世代を問わず、孤独を感じさせない素敵な未来を持っている施設と行事を増やしていけないでしょうか？つながりで世の中はAI化が進む一方、人との温かみも大切です。 学校では情報を見極める力の向上と個人の能力を伸ばせるよう子育て世代の経済力の向上が今後は必要不可欠です。そのためにも街で働ける職種を増やし、若者が求める店作りを持つ必要があります。 三原は日用品があふれている一方、出店した店が長続きしない場所があります。中小企業や福祉の施設しか生き残れない街ではなく、どんな店でも生き残れる経済のサポートが重要です。経済の支援としてはAIに伴う技術を三原でも勉強会を増やし、災害・福祉・起業対策に力を入れていくのはどうでしょうか？また高齢化に伴い運転ができない人のため交通を良	
	いただいたご意見の中の『「活気あふれ、人とのつながりが増える」街づくり』については、次期長期総合計画策定に向けた市民アンケート調査において、まちの活気が市民の幸福度の向上につながるが見て取れますので、市民が活気や活力を感じられるよう注力してまいります。 また、“めざすべきまちの姿”（将来像と基本目標）の中で、ともに支え合うことや人々が交流するまちをめざすことを掲げています。 そのほか、いただいた市民生活の各分野におけるご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考になさせていただきます。	

	くして、買い物に行きやすい手段を手にする必要があります。そのためにも運転ができる人を増やし、バス・タクシー・宅配サービスの運転手の技術を伸ばさなければいけません。また運転手や福祉の厳しい労働状況の改善のため若者や学ぼうとする大人へ技術を伝える努力がいきます。 そして「活気あふれ、人とのつながりが増える」街づくりへ近づけていけるよう若者に三原の魅力を気付かせつつ、大人にも優しい町へと変化していければ、幸いです。	
8	該当箇所	－
	意見	市の考え方
	三原市は、福祉の町とは聞いてますが、特色を多いに生かした福祉を、優先したカラーを醸し出した方が力作と考えます。県大などや、あと少し踏み込めば生きた三原市が、実現に近づく気がします。福祉は中々表裏一体で、中々難しいとは思いますが、少し足を踏み入れ思考くたされれば幸いです。	福祉については、基本構想の中で重要課題として位置づけており、住み慣れた地域で安心して医療・介護・福祉サービスなどの支援を受けられることが必要と考えています。 いただいたご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。

9	該当箇所	—	
		意見	市の考え方
		以下の内容は、２０１４年に「長期総合計画基本構想」の意見として提案したものです。それは、「低コストで可能な磯浜の再生計画」を検討してくださいというものです。この提案は、２００９年５月２９日付の陳情書・「須波小学校地先磯浜再生事業」に始まるものです。そして直後の（２００９年）平成２１年第４回市議会一般質問で、市議が「里海再生事業について」市長答弁を求めた内容でもあります。２０１４年の意見に対する「市の考え方」は、『ご提案の「低コストで可能な磯浜の再生計画」については、関係機関と協議し、研究していきます。』でした。その後２０２１年３月に「三原市シティプロモーション戦略に対する意見」募集があり ●須波小学校地先の海岸に、潜堤方式による「磯浜の再生」をする。 ●磯浜の再生後、潜堤上に回廊を設置して「海釣り公園」を整備する。 他２件で再々度提案しています。これに対する「市の考え方」は、「今回いただいたご意見は、市役所の関係課に情報提供し、今後の行政施策を進める上で、参考にさせていただきます。」というものです。このたび「長期総合計画基本構想」の見直し時期を迎え１０年前の提案に対する検討がどこまで進んでいるのか知りたいものです。因みに隣の尾道市ではここ２０年の間に潜堤方式による磯浜再生の事業が４か所も完遂しています。	いただいたご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。

	該当箇所	－	
		意見	市の考え方
10		○人口増加に関して ・大企業の企業誘致が長期的に見ても転出の抑制、転入の増加に繋がると思います。三原市は、高速道路やバイパス、空港、電車が固まっており、かつ広大な敷地の確保も可能なので物流拠点などにも適した地域だと思います。 ・宅地造成又はマンションの建設 三原は近隣の市へも通勤通学しやすい立地や環境が整っています。家を構える際に、マンションや分譲地があれば、近隣市からも三原を選択する人が増えると思います。 ○娯楽施設について ・サンシープラザや近くの旧パチンコ店など駅近くに娯楽施設（映画館やボウリング場など）を設けると、電車で近隣から来る人がいたり、市民も便利だと思います。 ○子育て世代の満足度向上 ・旧中央図書館跡地等にできる公園に加えて、残す公民館を改装し、府中市にあるポムポムのような施設を作るべきです。雨天時に行く場所がないため、ポムポムのような施設ができると満足度は上がるし、近隣地域からも遊びに来る人が増えると思います。 ・三原市陸上競技場の整備 三原市は陸上が強く、実業団や大学の監督として活躍されてる方、多数おられます。近隣市はタータンのトラックは当たり前ですが、三原市は陸上競技場があるのに、土のグラウンドは非常にもったいないと思います。 ○活気あふれるまちづくり ・グラウンドゴルフ場の整備 益田市のひだまりパークみたいなグラウンドゴルフ場があると老若男女利用できて、イベントでも使えると思います。また河川空間の有効活用につながります。	企業誘致については、“めざすべきまちの姿”（将来像と基本目標）の中で、大企業やスタートアップ事業者との共創による新たな産業の創出が必要であることを掲げています。 また、子育ての環境については、基本構想の中で重要課題として位置づけており、希望する人数の子どもを産み育てることと、子どもたちが健やかに育つ環境を整えていくことが必要と考えています。 そのほか、いただいた市民生活の各分野におけるご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。
11	該当箇所	35 ページ 第4章2(2) キャッチフレーズについて	
		意見	市の考え方
		人それぞれに「三原は●●がすごい」があるのは良いと思うが、加えて、まち全体として三原は何が「すごい」と誇れるまちなのかをサブタイトルで書いてはどうでしょうか。	キャッチフレーズについては、主に基本構想策定審議会に出された案をもとに、市民意見反映のためのWEB投票（ポスターセッション）の結果を経て、現段階案として掲げています。いただいたご意見については、最終決定の際の貴重な参考にさせていただきます。

12	該当箇所	－
	意見	市の考え方
	三原は、尾道や竹原ほど観光での知名度はないので、市民が住みやすい、住みたい町作りをしてほしいと願います。1つとして、免許返納をした高齢者の移動手段です。父は、病院、買い物に行くのにタクシーを使えば往復で6,000円かかります。足が悪いので、バス停まで歩くのもかなりしんどらしく、また、降りたバス停から病院などへ歩くのも大変です。父に限らず三原市郊外に住んでいる高齢者には共通の金銭的、身体的問題だと思います。高齢者は、免許を返納するよう促す代わりになる対策を望みます。例えば、週一回のタクシー利用は半額として、三原市が半額負担するなど。郊外に住む高齢者にも、生活しやすい町であってほしいです。 公共の使用場所として、リージョンにあるトレーニングセンターを主人が時々使います。以前より、よくなったみたいですが、器具が壊れていても、直っていなかったり、使用者が年配の方が多いいというのは、若い世代に魅力がない場所だからではないでしょうか。最近では、企業のフィットネスジムが増えたので、今さらかもしれないかもしれませんが、せつかくの場所ですので、広報に載せて、もっとアピールするとか。私の周りの人はほぼ知りません。月1トレーナーがついて、ストレッチ指導するとか、広報で募集すれば人は集まるのではないですか。100円で利用できるのは、とてもありがたいことですし。 円一町、図書館跡について、公共施設の集合体が良いと思います。できれば、図書館もそこがよかったですが。食、健康、学びが1ヵ所で済むと楽です。市民講座の運動系は、リージョンですが、文科系は駅前になっています。講座の後、食事、休憩などと思った時、円一だと便利です。図書館があれば、本を借りようとか、フィットネスジムがあれば、やって帰ろうとか、ついでの使用があると思います。	移動手段については、基本構想の中で重要課題として位置づけており、移動に対する公的支援の需要が高まっていることから、持続可能な地域公共交通の維持と、自動運転などの技術革新の動向を注視し、様々な実証を重ねていくことが必要と考えています。 そのほか、いただいた市民生活の各分野におけるご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。

13	該当箇所	—
	意見	市の考え方
	成人、子ども、障害者、高齢者、ペット、貧困を分けて考えるだけでなく、すべての市民が意識して市民全体が優しい町、住みやすい町になれば素晴らしいと思います。それぞれだけでは解決することはできません。すべての人が意識して行動することで町は変わると思います。 例えば、車椅子ユーザーへの対応は駐車スペースを作ればいいわけではありません。駐車スペース＋ドアの開閉スペースが必要。空いていれば誰もが使って良いわけではなく、徹底して三原市から店舗、パーキングに条例をだすなど徹底した対応が必要ではないかと考えています。また、トイレや店内もバリアフリーと表示はあるものの、商品やインテリアがあり、実際に利用できません。これを解消することで、少しずつ生活の中での当たり前に変化が起きることを期待しています。なにも、わからないからただ設置しているだけ。でも、解消することでベビーカーユーザー、カートや杖を利用する高齢者などにも非常に便利です。看板やお知らせ、お便りなども、難しい言葉ではなく、分かりやすい言葉を使うことで、みんなが理解しやすくなるはず。勿論、海外から来た方にもわかりやすいかなど。勿論、個別対応も必要です。しかし、この人達にはこんな対応、この人達にはあんな対応だけではなく、多くの方が利用できる、便利になる事が大切だと思います。 ペットに関しても、今や多くの方々が多頭飼いをしています。避難の問題で、連れていけないから一緒に家にいようになり、避難ができません。連れて行くことはできても、小さい移動用ケージやバッグに入れて外に置くなんてとても考えられないです。ペットを飼っている人だけの避難所を作って頂けたら本当に嬉しいです。 障害者の中には大勢の中ではパニックになる人も多いです。また、災害が発生した時点でパニックにもなります。緊急事態です。学校が避難所であれば教室を利用させてもらって様々な事情の人や家族に分けることも必要ではないかと思っています。勿論、学校の復旧にも考える必要もあるし、個人情報のこともあるのかもしれない。しかし、日頃からいつでも避難場所になるかもしれないことを想定したうえで、学校やその他の避難所について細かく対応	いただいたご意見の中の「成人、子ども、障害者、高齢者、ペット、貧困を分けて考えるだけでなく、すべての市民が意識して市民全体が優しい町、住みやすい町になれば素晴らしいと思います。」については、“めざすべきまちの姿”（将来像と基本目標）の中で、市民、事業者、団体、行政など、三原市に関わる全ての人が主体的に支え合い、それぞれに置かれた状況を理解し合うまちをめざすことを掲げています。 そのほか、いただいた市民生活の各分野におけるご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。

	できる準備が必要なのかかもしれません。 以前、避難しようとしたら布団などの敷物は持ってきてくださいと言われました。そんなに大荷物を抱えて高齢者を連れて行くのは困難です。座る、立ち上がるということも困難です。避難するにあたって前持った準備物がどこまであるのか、市民に全員に伝わるシステムが必要かと思います。災害研修の時に避難場所でどんな役割、部屋割をするかなど話し合ったことがあります。ゲームタイプでの体験でしたが実際は全く違ったのでびっくりしました。 まだまだ書きたいのですが長くなりますので、このあたりで終わります。とにかく、あらゆる環境の人たちと共通な知識 情報、決まりの徹底など必要かと思っています。三原市がもっともっと優しい町に住みやすい町になるといいな。	
	該当箇所	18 ページ 第3章 1 (2) ア 子育て・教育について
	意見	市の考え方
14	人口減少において、2023 年の出生数は国の推計を大きく下回る形となっているとのこと、分娩できる病院が一つしかないとのことですが、市としてこの状況を改善しなければ人口増は見込めないのではないのでしょうか。（人がいなくなれば町は消滅するので長期計画もなにもないと思います。）産婦人科の新たな開院は見込めないでしょうから、地域に根付いた病院に働きかけ、産婦人科医、助産師を増やすなどの対応をしてもらわなければ、出生数は増えないのではないのでしょうか。2023 年の約 400 人ですが、毎日均等に産まれるわけでもないの、時期が重なれば病院は逼迫するかと思います。人口増のためには、まずは今いるパイ（人口）の取り合いだと思うので、産婦人科が充実してない街にあえて住んで子供を育てるといふ若者は少ないのではないのでしょうか。産婦人科医の高齢化のために市内の病院で分娩が扱えないとなれば、益々の人口減は明白です。産婦人科医が体調を崩されたりすれば三原の産婦人科は事実上消滅するのではないかと思います。病院とはいえ、税金を一つの事業者に入投するのはなかなか難しいかと思いますが、状況が状況なので手遅れになる前に市から働きかけるべきかと思っています。	分娩取扱医療機関の維持については、基本構想の中で重要課題として位置づけており、将来にわたって希望する人数の子どもを安心して産み育てる望みを叶えるために、様々な取組が必要と考えています。 いただいたご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。

15	該当箇所	—	
	意見		市の考え方
	国道と佛通寺方面を往来する道路に大きなトラックがずいぶん増えて、山陽本線と交差する踏切を歩いて渡るのに怖い思いをしています。歩道があればと思います。周辺の道路も歩道があればと思います。できるだけ早くにと願っています。		いただいたご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。
16	該当箇所	—	
	意見		市の考え方
	市長の立場におられる事は、発言に責任が、市長として、あると思います。 現在、市長は同性結婚を、他市に先がけて押し進めているが、少なくとも他市より、寛容な考えであるように見えるが、特に他市より進んだ考えを表明するのは、必要ないと思います。発言により、起こる出来事に責任もあります。人口が、増加する事、年少人口、生産年齢の増加を問題視するならば、最終的に問題のある考え方となるが、その人達の将来をどうするか、考えて、そのうえで発言していただきたいです。敢えて言わなくても良いでしょう。世の中の移り変わりに従うくらいにしてください。 半年くらい前の事です、日本のどこかの裁判で、結婚に寛容な判決が出た次の日の事です、商業施設の女性トイレ側に向いて行こうとしたら、そちらの入口から、背の高い大柄な、明らかに男性と思われる白髪のある、顔も、認知症とかの年齢でなく、普通の少し年配と思われるぐらいの人が、しっかりとして普通の足どりで、出て来られました。何かあったのか不審に思いながら女性側トイレ入口を入ると、鏡のある手洗い場所で、3人くらいの女性が、「まあ」といって驚いたような声を出して顔を見あわせていました。女性トイレと男性トイレがあるのに、女性トイレ側に来る男性を、どうしたら良いと思われませんか。警備の人に知らせた方が良いでしょう。市役所で、こんな事があったらどうされますか。とても気味の悪い事で、市長の責任とまでは言いませんが、理由の一因として判決が原因と私は思いました。男性女性の区別もなく、トイレに男性が平気で女性トイレに入ろうと、そんな事も気持ちわるいと言えなくなるのだとは、思いもよらない事でし		いただいたご意見については、市役所内で共有するとともに、今後、基本構想を実現するための施策の基本的方向と体系を示す「基本計画」を策定し、その施策に基づく事業や取組を検討してまいりますので、その際の貴重な参考にさせていただきます。

たが、三原市はどう考えられますか。つきつめて考えると、自由と言っても限度があり、私の世代は、気持ちが悪く、女性トイレに男性に入られるとは、不安な気持ちになります。先が思いやられます。

市長は、三原市から人口が減っていく等と、心配することもおられないのではないですか？発言に責任を持ってください。市長ならば、責任もあると思います。他市より、推し進める立場を強調しないでください。問題提起した責任もあります。三原市内の住人が市長の考えを、すべて良いと思っているわけではないと思います。よくよく考える結論を出すとするならば、事実といいます。同性結婚を認める事は進歩的ではなく、退廃的と考えます。少なくとも、人口の事はどうする気で、同性結婚について言及しているのか、責任を持って発言していただきたいです。市長なのですから。まず、市長に、人口問題の解決策を案として出していただきたいです。長期総合計画基本構想に人口問題は不可欠で、解決策を必要とします。

このような事を言うと、鶏を飼う職業の方や、玉子を食す人や、動物食をする人には、本当に残酷ですが、CO₂問題や、温暖化問題を解決するため、やがて、それらを食す事を、やめていく世の中になる可能性があります。他の職業を考えて、転職する方向が、必要になります。「鳥インフルエンザ」だと言っては、鳥を殺処分する事を、繰り返す事も、もうやめる時代が来ると思います。飼っている人の方は、費用の損害がないように、保健所が鶏を買った事になっているのだと思いますが、それも、世の中で認められているのでしょうか。商人として考えると、不公平です。もう動物食をしなくても、健康で栄養を吸収できる良い食物になる物を、三原市が捜して、市民に勧めるようにしていただきたいです。市役所内に健康食研究課が、あっても良いと思います。長寿課があっても良いです。健康長寿課（計画課）で、どのようにすれば、人間が幸福なのか研究する課が必要です。

最終的に、お金がなくても暮らせる街を目ざす必要があります。100歳体操は、出かけなくても、自分の家で一人で出来るようにする。最近、隣の人と挨拶もしない世の中です。何かあっても、電話をかけて、すぐに駆け付けてくれる人は、警察の人しかいないと、確信します。救急車は、病院へ連れて行ってくれるかも知れませんが、それ以外は役に立つ事は出来ないの

です。ですから、日本は、年をとれば警察のありがたみが分かります。それで、警察を守る必要があります。

市役所が、農地を所有して、市の職員か、時間のありあまった人が農作物を造り、食物がなくて困っている人や健康的植物を食したい人に、無料で差し上げる事になると、良いと思う。希望者は、住所と名前が分かる必要があり、市民を対象とする。給付金ばかりでなく食物を。

三原港を遊びのために利用しない事が大事である。ちゃんとした、港として、やっていく事にする。海難に会わないよう、管理をちゃんとする。港の建物には、南海トラフを想定して、備える食物と、逃げるために必要な物を用意する。日にちがたった物は、市民に安く買ってもらうか、無料給付する。

市長は、商業施設と、食物などの供給契約を結んでいるが（南海トラフなどのとき）、円一エリアに自分の市の建物を設けて置いておく必要がある。

円一エリアに少し高い建物を設けて南海トラフのため、多くの人が高い場所に逃げれるようにする。円一エリアには大型遊具ではなく、駐車場を建てて、南海トラフの時、そこへ滞在出来るようにしておく。前出の高い建物とする。円一エリアには、三原警察と広島県東部の警察に来ていただいて、三原の空港と水資源と、港周辺を守っていただく。市役所も守ってもらう。円一エリアに大型遊具を持って来たり、港を遊びの場にしようとしているが、不必要な遊びの場を造って、予算をかけず、子供達が職業体験をやりたいと思って殺到していることを、ふまえて、遊ぶとは遊具ではなく、将来に結びついた学びのある物事であるようで、市長は、見当違いの遊びをさせようと、遊具を持って来るのは間違いである。大人は、子供を、遊ぶ遊具を必要とすると誤解している。子供達は、本を読む事の方を好むと思う。円一エリアには子供達にも必要な図書館を中央図書館とは別に建て、両親が帰って来るまで、（仕事から）、居場所として、いる事の出来る、勉強をして良い図書館を建て、大人も子供も居て、学べる場所を造る必要がある。円一エリアは、災害に備えた備蓄品を置き、滞在（いざという時）出来る図書館と滞在出来る駐車場と警察を建築しておく必要あり。

三原は、戸籍は他市に置いていて、ご本人は三原に部屋を借りて住んでいる人も多くおられると思います。住民は、とても多いはずです。

以前も申しましたが、家は福山だけれど、温水プールに毎日入りたいから、三原に住んでいると言われた、50～60代くらいの女性もおられました。便利な事を目的として、家は久井か世羅だったと思いますが、昔、三原高校の定時制に通って来たので看護師さんの仕事を終えて、三原に部屋を借りて住んでいると言われた女性も、おられました。便利にするには、高年齢の人にとってバスが必要です。バスを小さな車にして、乗る出発時刻を定めて、主な停留所は必要ですが、降りたいところをだいたい、運転主さんに早めに言うておいて停留所でない所でも、他の車がない、人もいない地域であれば、途中でもバスを止めて、いただけるような地域（人があまりいない地域）で可能にすれば良いと思います。学校があれば、多くの人がやって来ます。三原市も、（県立）大学院か、三原市立大学が、小さくてもあれば良いです。尾道に大学や大学院があるように。

三原に、警察（広島県東部で空港や水資源を守るための）署を円一エリアにつくって、子供達も見守り、市役所も守っていただき東京で、皇室や、国会議事堂もありますが、公務が守られるよう。三原の皆実町にある三原本署は浸水区域にあります。一般の人は南海トラフの時、逃げる事が出来ますが、警察本署は、大事な書類や機器など、放っておけない物がたくさんあり、警察官は逃げる事も出来ず、本署を守らなければならないため、たいへんな事になります。円一エリアに公園や大型遊具は持って来ず、警察署を建てて、官庁街の再編をすればよいと思います。